



みんないっしょ ずーっといっしょ



宝塚第一小学校区まちづくり協議会

VOL. 52

2023年11月15日発行
編集・発行 広報委員会
連絡先 一小宝梅ハウス
0797-57-9060
宝塚市宝梅 1-12-43

第3回 宝塚Uganまつり

「遊びと食で人がつながる共生の秋祭り」に 1000人



10/21 (土) 武庫川河川敷右岸芝生広場にて第3回宝塚Uganまつりを開催しました。約800人の来場者を200人の実行委員が、遊び、アート、学び、物販、飲食、健康等をテーマとしたブースで迎えました。遊びに夢中の子どものたちの眼差し。見つめる保護者の笑顔。フォークダンスに合わせ販売ブース内で踊り出す人、車いすで楽しむ女性。



フラ、和楽器演奏の小学生、中学生ソーラン隊のパフォーマンスには惜しみない拍手が送られました。大喜利では老若男女が障がいの有無を超えて“ごちゃませ”で笑い転げる姿がありました。いたるところで“新たなご縁=つながり”が生まれ、来年どんな祭りになるか楽しみです。



地域の祭りが戻ってきた!

新型コロナの流行によって、人と人の交流が途絶えがちだったつらい数年間を吹き飛ばす勢いで、いろいろなイベントが活発に開催されています。

宝梅ハウスまつり

10/29 (日) 第5回となる宝梅ハウスまつりを開催。今回は宝塚市の助成金を活用してぜんざい・飲み物を無料でふるまうことができました。

前回好評だったバルーンアートに加え、クロマチックハーモニカの演奏や手芸作品展等芸術の秋を満喫できました。あちこちでイベントが重なった日曜日でしたが、人が集える喜びを共有できた一日となりました。

*宝塚Uganまつり、宝梅ハウスまつりはコロナ禍でも様々な対策を講じながら開催していました。



10/7 (土) 一小視聴覚室にて『市長とのタウンミーティング』を実施しました。

車座になって忌憚のない意見を交換し、参加メンバーから宝塚市についてそれぞれの視点で意見が出ました。

地域の声が市政に反映されるきっかけになる事を期待しています。



紅葉ガ丘自治会 わくらんまつり

9/9日 (土) 紅葉ガ丘わくわくランドにて6年ぶりに自治会主催のお祭りが開催されました。フランクフルトや焼き鳥などの飲食コーナーをはじめ、子どもたち向けのゲームコーナーなど、地域の多世代交流の場となり、皆さんは楽しいひとときを過ごされていました。



第2回 地区防災委員会

9/23 (土) 『LINE チャットボットの活用(安否確認)』をテーマに、デジタルを活用した発災時の安否確認訓練を体験しました。

まず LINE の登録から始まって、送られてくる安否確認にドギマギしながら「無事です！」と送信。

準備した震災パネルを利用して、現状を報告するなど、初めての体験ばかりで緊張しました。

デジタルの可能性はどんどん広がりますが、自分達の地域にどのように取り入れて行くのか、活用方法について新たな課題が生まれました。

安全部会



9/16 (土) 宝塚ボランティアプラザ zukavo 主催のボランティアクラブで、今年も出前防災教室を行いました。

危険予知トレーニングのグループワークや非常持ち出し袋カードゲーム、シェイクアウト訓練を市内の小2~中2までの11名が真剣に取り組んでいました。



子育て部会

<地域の中につながる喜びを>



この夏は記録的な暑さが続き、屋外での活動が危険すぎるほど。

そんな中、7/25 (火) コロナ5類移行後、感染対策は行いながらも、初めて人数制限なしに「夏休み工作教室～世代間交流広場～」を開催しました。外とは対照的にクーラーの効いた涼しい部屋で、子どもも大人も楽しく遊び、交流することができました。参加者とスタッフ合わせて200人を超える参加人数は過去最高記録です。

これからも感染症を乗り越え、地域全体がつながり、喜び合う場を作っていきたいと思います。



地域交流部会

地域交流ネットワーク会議

尼崎市の「若い世代の提案」に予算をつける事例を学ぶ！

7/16 (日) 一小視聴覚室において、「中高生の活躍の場をどう創るか？」をテーマにNPO シチズンシップ共育企画代表川中大輔さん(龍谷大学社会学部准教授)を招きワークショップを開催。青少年にかかわる約30人が参加しました。会の目的は若い世代への支援、特に「行動する市民、次世代をどう育てるか？」を“深掘り”するものです。

川中さんから、「尼崎市は若い世代によるユース会議で企画提案されたことに予算をつけ、提案者をサポートすることを制度化している」と事例報告がされました。参加者は「中高生がまちの担い手となる仕組み」や「シチズンシップ」について議論しました。



部会学習会

「池田・石橋」&「宝塚・西谷」の次世代まちづくりを体感

9/2 (土) 池田市石橋商店街を盛り上げる大阪大学の取り組みを視察しました。案内役の菱田伊駒さんは一小出身。阪大生時代から地域の商店街と学生の橋渡し役を続け、今も留学生への支援をしています。この日はドイツ人医学生への地域フィールドワーク。日独の若き世代が地域の空き家で、地域課題を英語で話し合っていました。



他地域との交流

9/17 (日) 西谷の波豆川で子どもカヌー体験の見守りボランティアをしました。親子約50人の参加者には、西谷小の児童のほか、市内の小中学生もいて、川遊びを満喫しました。

西谷在住の高校生ボランティアから「一小が大規模校なら小中一貫校の西谷に来てほしい」と生の提案を聞きました。



福祉部会

10/18(水) 一小区内福祉サロン、老人会のみなさまを対象に福祉研修バスツアーを開催しました。参加者46名は近江八幡市を訪れヴォーリズ記念館、八幡堀などを見学。昼食には近江牛ランチを堪能。



参加者からは「足腰が弱り一人では不安で遠出できないが、サロンの方々と一緒に参加することができ楽しい一日を過ごすことができました！次の機会も楽しみにしています」と感想をいただきました。



宝梅ハウス

宝梅ハウスは一小まち協の活動の拠点です。近隣自治会をはじめ各種団体、サークル活動、ふれあいサロン等で広くご利用いただいています。昨年度より新たな取り組みとしてスタートした「中・高校生向け居場所づくり」の一環として定期考査前の自習室開放の取り組みにも活用され、徐々に生徒さんに浸透してきているようです。また、「くつろぎカフェ(右の記事)」にも利用されています。秋の「宝梅ハウスまつり」も継続して実施しています。様々な活動を通じ、これからもますます皆さまに親しまれる施設として、地域とつながっていきたいと思います。



毎週水曜日 13:30~16:00 に開催しています。

第4水曜日は zukavo による移動カフェの開催日です。

お仲間とおしゃべりに、ティータイムに...

お気軽にお立ち寄りください。

(参加費 100円)



15:00 頃から野菜等の販売もあり、奇数月には阪急百貨店からお菓子の出張販売車がやってきます。

環境部会

11/14(火) 10時半から「クリスマスからお正月まで楽しめる草花の寄せ植え講習会」を文化芸術センターのおおやね広場を会場にして開催しました。花の香りがほのかに漂う屋外で和気あいあいと寄せ植えを楽しみました。



宝塚第一小学校 教育環境適正化検討委員会

一小は児童数が1,000人をを超える過大規模校です。この状況が平成19年(2007年)以来16年間続いています。800人規模の校舎であるために教室不足も深刻です。また、コロナ禍においてはトイレ利用の場所制限や運動場の利用人数制限を余儀なくされました。

2年後の2025年に旧宝塚ホテル跡地に2棟(646戸)の高層マンションが完成すると児童数の更なる増加が予想されます。

こうした状況を受け、今年2月に一小まち協が中心となり、市教育委員会とともに地域や保護者等で構成する「宝塚第一小学校教育環境適正化検討委員会」を設置しました。既に4回

(2月、4月、6月、10月)委員会を開催し、7月には市教育委員会が一小児童の保護者向けに「通学区域の弾力的運用」についての説明会を5回開催しました。

将来を見据えて広く教育環境を適正な形で変えていくことは、小中一貫校を含めた教育改革を大きく進めていくこととなります。一小的より良い教育環境の実現のために、今後ともしっかりと取り組んでまいります。

まちづくり推進委員会

総会決議を経て、宝塚第一小学校区まちづくり協議会会則を改訂しました。従来の「評議委員会」を「まちづくり推進委員会」に組織変更するとともに、27自治会及び6学校園の代表者の方々が「まちづくり推進委員」となり、協働・連携の視点からまち協活動に参画して委員活動を担って頂くものです。

第2回まちづくり推進委員会を7/22(日)に開催しました。31名の参加があり、まち協からは地域の諸課題の報告、学校長より一小的の現況説明、推進委員からは様々な提言がありました。

今後とも22,000人が暮らす一小区内のより良い地域づくりを目指して定期的にまちづくり推進委員会を開催し、地域情報の共有や諸課題の解決に向けて真摯に取り組んでまいります。

今後の予定

12/2(土)・3(日) 宝塚「生」の石積み
 1/16(火) 宝塚「生」の祈り
 1/20(土) 一小校区防災訓練
 2/3(土) 地域福祉ネットワーク会議
 2月頃(予定) 櫻守りの会 講演会
 子育てふれあいサロン
 12/8 1/12 2/2 3/1

子育てふれあいサロンのご案内

毎月1回、未就園児と保護者を対象に、相互交流や情報交換、息抜き場として気軽に集える「子育てふれあいサロン」を開催しています。

ささいな心配事の相談にもなりますよ。どうぞ気軽に遊びに来て下さい。(無料です)

日時：原則毎月第2金曜日 10～12時

場所：一小宝梅ハウス 2階
 (宝梅1丁目12-43)

*2月・3月は
 第1金曜日



防災豆知識

Q：避難所はどっち？



A：①

①が避難所のマークです。避難所とは、災害後おうちがなくなった人やおうちに帰れない人が少しの間、一緒に生活をするとこです。災害後に建物の中に作られます。

②は避難場所のマークです。避難場所とは、災害が発生した時や災害が発生すると予想されるときに、前もって避難して命を守る場所です。

詳しくは
 ブログを
 見てね



一小まち協

検索

宝梅ハウス利用料金表

集 会 室	利用時間帯	A	9時～12時	利用時間帯は ご相談に応じます
		B	13時～16時	
		C	17時～20時	
会 室	1階 (8～10名)	500円		利用月により 冷暖房費を100円 加算させていただきます
	2階 (24～40名)	1,000円		
印 刷 機	マスター(原紙)	100円 / 1枚		
	片面 (白紙)	A 4・B 4	3円 / 1枚	
		A 3	5円 / 1枚	
	両面 (白紙)	A 4・B 4	4円 / 1枚	
A 3		6円 / 1枚		
コ ピ ー 機	白黒	片面	B5・B4・A4・A3	10円 / 1枚
		両面	B5・B4・A4・A3	20円 / 1枚
	カラー	片面	B5・B4・A4・A3	50円 / 1枚
		両面	B5・B4・A4・A3	100円 / 1枚
ラミネート加工	A 4	25円 / 1枚		
	A 3	35円 / 1枚		
プロジェクター	ハウス内利用		200円	
	持ち出し(2泊3日)		1,000円	

お問い合わせはお電話で

月曜～土曜日(祝日は除く)
 10時～12時 担当者在室
 問合せ

0797-57-9060



通学見守りボランティア募集！

子どもの横断が途切れず車で通行できなかった経験はありませんか？

地域のスムーズな交通のために、みなさんの力を貸してください。

宝塚第一小学校愛護部では、見守りしてくださる地域の方を募集しています。

場 所：通学路(特に藪中交差点・ヴィオレット下交差点・南口点滅信号・小学校下踏切)

時間帯：特に 14:30～16:00

ご協力いただける方は、
 宝塚第一小学校 教頭
 (TEL71-0492) まで

